



# 碧南ロータリークラブ週報

第2836回例会 平成29年8月23日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



ロータリー:  
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

## ●齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

## ●本日のお弁当

小伴天

## ●本日のお客様

地区会員増強委員会 副委員長 山崎克弥様

## ●本日の卓上花

セロシア (ケイトウ)、ブルースター

## 会 長 挨拶

こんにちは。本日は、木村会長がお休みでございますので、私が代わりに挨拶をさせていただきます。よろしくお願い致します。

本日のお客様の地区会員増強副委員長の山崎克弥様には、暑い中お越しいただきまして、ありがとうございます。

碧南 RC の会員増強は地区方針に沿って展開しております。今年度、木村会長は 2 名増強と目標を掲げて、会員増強委員会を中心に会員一丸となって対応しております。

クラブフォーラムで、山崎副委員長様には、「会員増強とクラブの多様性」についてのお話をさせていただきます。よろしくお願い致します。会員の皆様は参考にして頂き、会員拡大に繋がれば良いかと思えます。

さて、長い休み明けで、皆さんの顔を見るのが久しぶりでございます。今日はロータリーの話させていただきます。

では、本題に入りますが、本日、緊張の中で初めて点鐘をさせていただきました。空振りし



平岩辰之副会長

なくて良かったと安堵しております。今の心情を詠みますと「ロータリー 心のしまる 鐘の音（しょうのね）」でございます。今回、初の点鐘をしまして、歴代の会長が例会は「点鐘で始まり、点鐘で終わる」ことを自然に捉えていました。いざ、点鐘をしてみますと、ロータリーはなぜ点鐘をするのか不思議に思いました。先輩諸氏に点鐘の始まりは1920年頃、東京クラブが使ったのが最初と聞いております。その後、他クラブは東京クラブのやり方に倣って、普及したのではないかと思います。ロータリークラブの点鐘は、学校の始業、終業の時のチャイムと同じでございます。大航海時代の習慣に由来して、時間を告げるのが目的のようです。点鐘は何回叩いても良いそうです。決まりは無いようでございます。目的は時間を知らせることでございます。わかれば良いことです。私は1回で十分だと思っております。

世界のロータリーから見ても、点鐘で開会、閉会を鐘で告げるのは日本だけのようでございます。鐘の入手については、新クラブ結成時にスポンサークラブから貰うのが慣習のようでございます。碧南 RC もスポンサークラブの刈谷 RC より、結成時に戴いたものでございます。この鐘には、刈谷 RC 寄贈と書いてあります。

先程も言いましたように、点鐘は大航海時代の慣習から始まったものと考えられております。時を告げるのが目的ということになります。点鐘は終わった時に鳴らすものではなく、時間を守って定刻に閉会するためのものがございます。大変威厳のあるものがございます。例えば、講師が13時半を過ぎても卓話をしているようなら、13時半に鐘を鳴らし、講師をほっといて会員全員で帰っても良いそうです。碧南 RC は、そんな失礼なことはしません、プログラム委員会の皆様、会員の皆様は、講師に卓話を依頼する時は、時間内に終わるようにお願いしていただきたいと思っております。

最後に点鐘のしょうは、時は金なりの通りでございます。ロータリーの例会は、大変お忙しい立場の皆様と時間チャージの高い方の貴重な時間を使っておりますので、時間を大切に有意義に大事にしていきたいと思っております。有意義にするには、やはり行動に表すことと思っております。

以上で会長代理の挨拶とさせていただきます。失礼致しました。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更はございません。
- ・ 西三河分区大高ガバナー補佐様、鈴木分区幹事様より、ガバナー補佐訪問のお礼状が届いております。
- ・ 先回に引き続き、本日も九州北部豪雨お見舞いの募金箱を回させていただきます。よろしくお願ひ致します。
- ・ 60周年実行委員会の案内を該当者の方に配布させていただきました。9月27日の例会終了後に201号室で開催となりますので、よろしくお願ひ致します。
- ・ 次回の例会日は8月30日でございますが、ガバナー公式訪問でございます。高浜 RC との合同で行います。場所は衣浦グランドホテルでございますので、お間違ひの無いようお願い致します。



角谷信二幹事

- ・ 本日、小伴天さんよりお中元を頂いております。ありがとうございます。

## 委員会報告

### <出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 10 名)出席者 52 名	
出席対象者 52/62 名	出席率 83.87%
欠席者 16 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

### <ニコボックス委員会>

地区会員増強委員会 副委員長 山崎克弥様 地区会員増強委員会の山崎です。本日は、宜しくお願い致します。

木村 徳雄君 ガバナー補佐訪問に対して、会員皆さんありがとうございました。本日は会長あいさつを、平岩副会長よりお願い致します。

榊原 健君 8月19・20日、碧南サマーカップ少年サッカー大会を無事に終える事が出来ました。今年は県外4チーム、他市町村12チームを招待して行い、北は東北・塩釜FC、南は震災の中心地となった熊本ましき町よりFC. Big Waveを招待して行い、子供達は完全燃焼してくれました。

角谷 信二君 地区会員増強副委員長 山崎克弥様のご来訪を歓迎します。首の調子はどうですか？

加藤 良邦君 去る8月20日(日)藤井達吉翁鶏頭忌、長田豊治さん並びに関係各位の皆様大変お世話になり深く感謝致します。

長田 豊治君 この日曜日、8月20日に毘沙門天妙福寺さんで、藤井達吉翁追弔会鶏頭忌を開催いたしました。70名余の皆様がご参加下さり、盛会裡に催すことが出来ました。皆様のご理解ご協力に感謝いたします。

新美 宗和君 奥田・加藤・鈴木・清澤・石川・山口・伊藤様、21日のワイン会出席ありがとうございました。次回は10月23日です。

杉浦 栄次君 本日の講師、地区会員増強副委員長 山崎克弥様をご紹介いたします。

岡島 晋一君 長田銑司さんには大変御世話になりました。

## クラブフォーラム

### 「会員増強とクラブの多様性」

地区会員増強委員会 副委員長 山崎克弥様



山崎克弥様

皆さん、こんにちは。私は西尾RCでして、今年60周年な

のですけども、碧南さんは来年が 60 周年ということで、同じような歴史ですし、人数も同じぐらいで違和感はないなという気がしております。また、プライベートや仕事の関係で非常にお世話になっている方がたくさんいらっしゃいますので、そういう意味では話がしにくいなど感じている次第です。

今日は 8 月が会員増強月間ということで、杉浦委員長からお話を頂いたものですから、碧南さんに伺いました。限られた時間ですので、そろそろ本題に入らせていただきたいと思います。

4 月 22 日に地区の会員増強のセミナーに幹事、委員長の方にご出席頂きました。そこでもお話をさせていただいたのは、まずは会員増強に関して各クラブで状況を把握されてはいかがでしょうかということでございます。

クラブ会員の年代層の幅が重要で、長期的視野で年代に注目して会員増強をすれば、クラブの存続に繋がると考えられます。また、違う世代と交流できる楽しさが会員維持にも繋がると考えられます。これは今年の木村会長の行動指針にもあるように、会員増強の柱は退会防止とおっしゃっておりますので、その通りだと私は感じております。

今話題になっておりますのが女性会員でございます。碧南さんも女性会員の方がいらっしゃいますが、なかなか増えていかないという現状があります。1987 年に女性の会員資格が認められ、アメリカのカリフォルニア州のデュアルテ RC の女性会員が事実上、認められた年だそうです。

女性会員の比率を見ますと、世界では 21.4%、ところが日本は 6.13%しか女性会員がいらっしゃいません。フィリピンは 32.54%、カナダは 32.19%、台湾は 29.95%、アメリカは 29.74%、ベルギーは 9.56%、オーストリアは 10%、ドイツは 10.8%、インドは 10.18%だそうです。

入会してもらうためには、クラブの多様性が重要になってくると思います。多様性のメリットとしては、地域社会のニーズに多角的に取り組むことができるということがございます。それから、地域社会からの信頼と支援を得やすくなるということもあります。これは色々な業種の方が入っていらっしゃいますので、その業種の関連団体からの支援が受けやすくなるのではないかと考えられます。それから、幅広い知識やスキルを結集できる、ボランティアをより多く確保できる、将来リーダーとなる人材を多く確保できる、そんなようなことが考えられます。

昨年、西三河分区での退会者は、死亡を外しますと 68 名になります。その中で 1~3 年未満の退会者が 22 名ということで、約 3 割強になります。地区全体になると 741 名で、1~3 年未満の退会者が 173 名ということでございます。これは色々調査してみますと、会員の個人的な関心やニーズにクラブが応えてくれているかどうかというところに問題があるそうです。また、クラブの情報や状況を入会前にお話をされていないということがあるそうです。退会防止に役立てていただければと思います。

本日は貴重なお時間を頂きまして、お話をさせていただきました。碧南 RC さんの楽しい活動が未来永劫続きますようにお祈りを申し上げます。ありがとうございました。

## 次回例会案内

平成29年9月6日（水）

クラブフォーラム 青少年活動助成金贈呈

碧南市スポーツ少年団、碧南市スカウト育成連絡協議会